

土岐川グリーンベルト通信 第5号

「笠原の森」での平成15年度 活動報告（その1）

平成15年度4～10月活動概要

主な活動内容

実施日	活動内容
H15. 9. 18	「笠原の森の歴史・変遷」 講義実施
H15. 10. 23	第1回樹林整備活動 「笠原の森調査」

本年度の「笠原の森」での活動は、笠原中学校の「地域の人と楽しめるオリエンテーリングの開催」の願いに沿うように、「オリエンテーリング開催に向けた準備活動」を行うこととなりました。

オリエンテーリングに向けて、マップ作成、クイズ作成、ネームプレート作成、歩道整備の準備活動を行うために、10/23に、「笠原の森調査」を例年の様に中学校の「総合的な学習の時間」において、中学生と笠原の森ワーキンググループで実施しました。

活動のようす



○講義「笠原の森の歴史・変遷」の実施



「総合的な学習の時間」にて、「笠原の森の歴史・変遷」の講義を2時間実施いたしました。

（講義内容）

- ・ 日本の土砂災害
- ・ 笠原の森の歴史
- ・ グリーンベルト
- ・ 樹林の遷移
- ・ 樹林整備の必要性

生徒はこの講義を元に、オリエンテーリングのクイズの題材にしたり、新聞を作成したりしました。

森の大切さ!!!

環境新聞

木が生え過ぎた笠原の森
木が生え過ぎた笠原の森は、森の歴史を語る上で重要な役割を果たしている。しかし、近年は土砂災害の発生が頻りに見られ、森の大切さを改めて認識する必要がある。

木林の循環について

木は成長すると、土壌を改良し、水を蓄積する役割を果たす。また、木は枯れると、土壌に有機物を還元し、新たな木が育つための栄養を供給する。この循環が、森林の健全な成長を支えている。

姿変えゆく笠原の森

笠原の森は、昔と比べて大きく姿を変えてきた。これは、自然の力と人間の活動の結果である。森の歴史をたどると、その変化の軌跡が読み取れる。

土砂災害の危険性

土砂災害は、大雨や暴風時に発生する危険な現象である。笠原の森は、土砂災害の危険性を軽減するために重要な役割を果たしている。

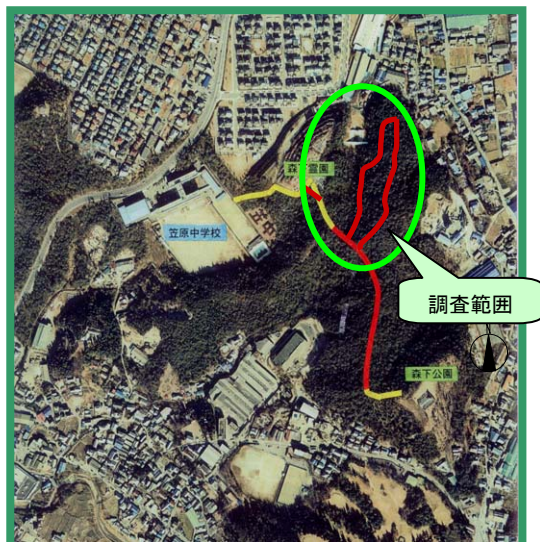
樹林の遷移

樹林の遷移は、自然の力による現象である。これは、森林の健全な成長を支えている重要な要素である。

生徒の新聞

○第1回樹林整備活動「笠原の森調査」

オリエンテーリングに向けた、マップ作成、クイズ作成、ネームプレート作成、歩道整備を行うために、ワーキンググループの岐阜大学生、岐阜県東濃地域農林商工事務所・農山村整備事務所と共に中学生の調査活動の指導を行いました。



笠原の森

ネームプレート(クイズ)班

樹種や、森に関する様々な事を教わりながら、今後の授業で作成するネームプレートの仮作成を行いました。

生徒の感想

- ・知らなかった木をたくさん知ることができた。
- ・どの木の実が食べれるか知ることができた。



何の木だろう？



仮の印をつけました。



今年度ネームプレートを作成します。

マップ(樹林整備)班

森の中で目につくものや、これまで整備してきたものについて位置を地図で確認して回りました。

11月に整備を行う箇所の調査も一緒に実施しました。

生徒の感想

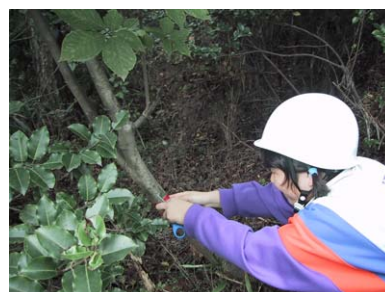
- ・3年間歩いてきて、新しい発見があった。地図に記入していきたい。
- ・暗い箇所を明るくしていきたい。



指導風景



地図ではどこだろう？



印をつけている様子

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 多治見工事事務所 砂防調査課

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町 6-34 TEL : (0572) 25-8024

ホームページアドレス : <http://cbr.mlit.go.jp/tajimi/>